

ひらめき箱(意見・要望等)対応状況

番号	19	開封日	令和7年7月28日
ご 意 見			
<p>私は心配で手紙を出しました。令和2年7月豪雨で鍛冶屋町はさびしくなりました。</p> <p>観光客の目玉 見せ場等消えてしまいました。</p> <p>鍛冶屋さんも店は閉めてありません。前は、昔の鍛冶屋の道具 仕事場 人形モデル 観光客の見せ場でした。今のままでは 消えてしまいそうです。昔は60店もあった鍛冶屋です。</p> <p>鍛冶屋店があつての鍛冶屋町と思います。歴史があります。</p> <p>町おこしで市が協力していただけないでしょうか。人吉に嫁いで70年92才です。</p>			
回 答			
<p>御意見いただきありがとうございます。商工観光課からお答えいたします。</p> <p>16世紀の終わりごろの城下町整備により、鍛冶職人を集めた「鍛冶屋町」がつくられ、ご指摘のとおり最盛期の江戸時代には60軒ほどの鍛冶屋が武具や農具を造っていたようです。その後は山林用や農業用の刃物を中心に造られてきましたが、農林業の機械化による需要の減少、工場で大量生産される刃物の登場、後継者不足などが原因で、現在市内に残る鍛冶屋は3軒となりました。</p> <p>今では鍛冶屋町で営業する鍛冶屋はなくなりましたが、往時をしのび、既存事業者からの同町への移転の意向や、新規事業者からの同町への出店の意向がございましたら、同町の歴史を鑑み市としても支援してまいります。</p> <p>また、人吉刃物の品質は全国的にも高く評価されていますので、本市としてもふるさと納税の返礼品への採用や都市部での物産展への出品などによる支援を行っており、今後も人吉刃物という伝統文化の火が消えることないよう努めてまいります。</p> <p>鍛冶屋町通りの観光振興につきましては、平成13年に設立された「鍛冶屋町通りの街並み保存と活性化を計る会」を中心に、景観づくりやウンスンカルタ等の地域に伝わる文化を生かしたまちづくりに取り組まれています。近年では、妖怪をテーマにしたイベントの開催などによりぎわいが創出されており、観光客や関係人口の増加を図る同会の取り組みについても、引き続き支援してまいります。</p>			